



# ひきこもりとは

「ひきこもり」とは、何らかの事象をきっかけに、相当の期間、仕事や学校に行けず、自宅にこもり、家族以外との交流がない状態

【厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」より】

様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交友など）を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）を指す現象概念である。

なお、ひきこもりは原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低いことに留意すべきである。

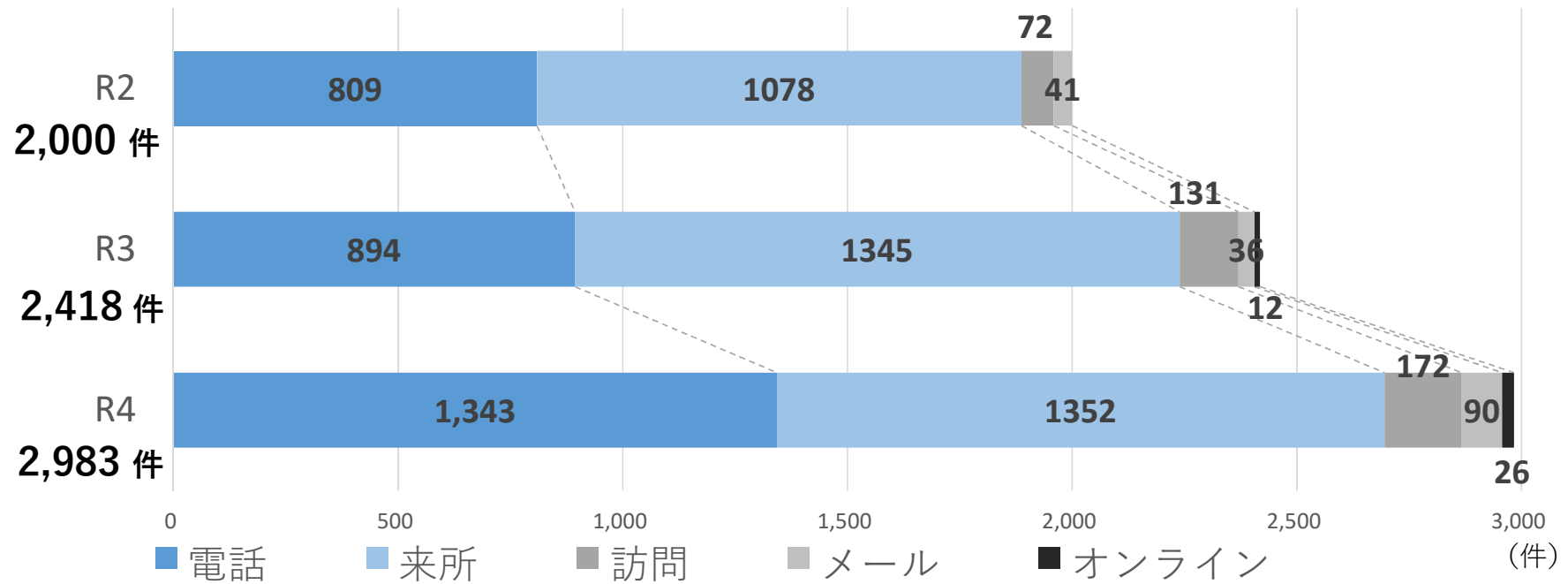
## 神戸市のひきこもり対象者推計

	15～39歳	40～64歳
ひきこもり該当率※1	2.05%	2.02%
神戸市対象人口（R4.11末推計）	約38万1千人	約52万1千人
神戸市 推計数	約7,800人	約10,500人

※1 「こども・若者の意識と生活に関する調査」  
（R4.11内閣府実施）広義のひきこもり

**市内対象者 約18,300人(推計)**

# 神戸ひきこもり支援室 相談件数



※ 令和2年2月・3月の支援室実績は相談件数403件。

## 令和4年度 関係機関のひきこもり相談・支援状況調べ (ひきこもり支援室実施)

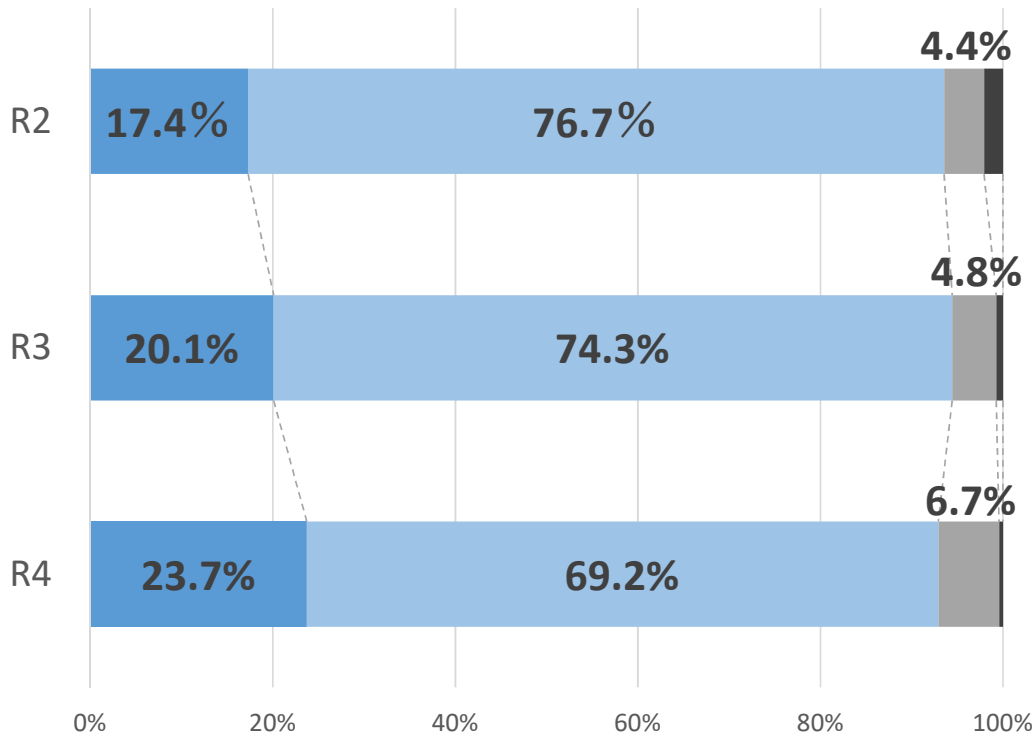
・ 関係機関 (※1) 支援対象者 **788 件**      ・ 関係機関 (※2) 相談件数 **2,777 件**

※1 保健センター、保健福祉課、生活支援課、社会福祉協議会、くらし支援窓口 他

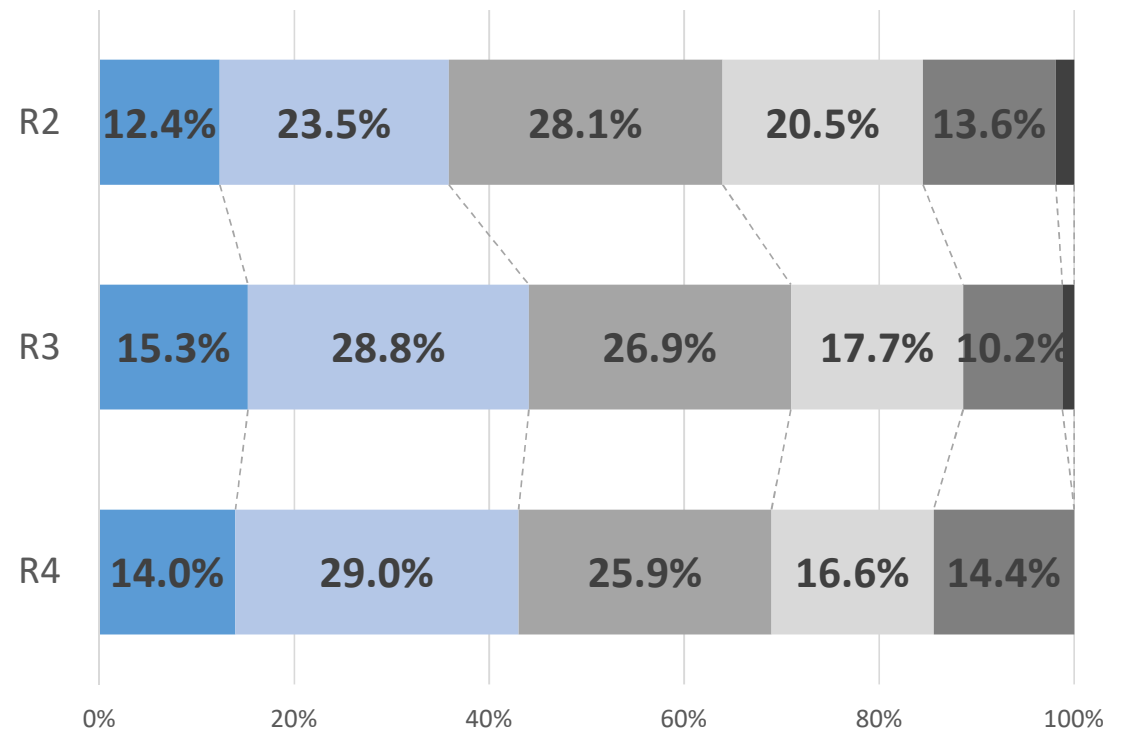
※2 発達障害者相談窓口、障害者相談支援センター、あんしんすこやかセンター 他

# 神戸ひきこもり支援室 相談対象者

属性



年代



■ 本人 ■ 家族等 ■ 支援機関 ■ その他

■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代以上 ■ 不明

(2023年11月29日開催 神戸市ひきこもり支援研修会 (ケアマネジャー対象) 配布資料)

1. ひきこもり相談リーフレット (家族向け)
2. ひきこもり支援マップ (支援者向け)

※他に、ケアマネジャーと神戸ひきこもり支援室との連携の流れ図や、支援事例資料があります。  
個別にお問い合わせください。

